

# 庭

と語らふ  
 先祖代々引き継がれてきた歴史と思い出を  
 ずっとそばで見守ってきた庭石とともに  
 現在の暮らしの中へと、つなぐ庭。

- ①いつまでも眺めていたい、癒しの庭  
 以前の家にあった庭石をそのまま使うことで、ずっとここにあったかのような自然の景色を四季折々に見せてくれる庭に。流れる水の音や木々の間を抜ける風が心を癒す。
- ②100年以上の時をまとう「亀石」  
 100年程前に建てられた家の庭の中心に



①いつまでも眺めていたい、癒しの庭

あったという「亀石」をそのまま利用。海から山に登りゆく亀を白石と芝生で表現しました。春には隣の広瀬公園と同じように美しい桜が舞う。

- ③リビングの延長線上にある中庭  
 天気の良い日はダイニングにも早変わりする、水の音が心地よい中庭。キッチンの窓か



②100年以上の時をまとう「亀石」

ら見えるグリーンや、周辺の木々や空までを風景としてとり入れることで、開放感のある空間となっている。

- ④粋を感じる坪庭  
 和室から見えるもう一つの庭には、障子を開ける具合によって見え方が変わるという、客人をもてなす粋な仕掛けが。



④粋を感じる坪庭

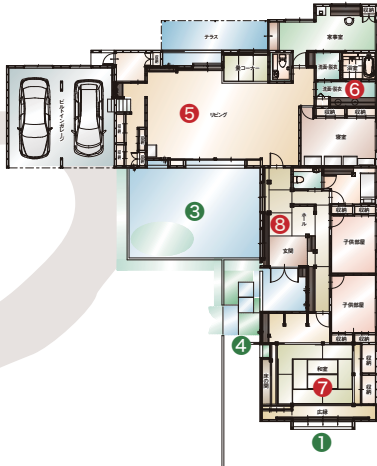


③リビングの延長線上にある中庭

日本の  
 家庭で  
 語らふ

# 家

と語らふ  
 個性あふれる、生きた木が呼吸する。  
 窓に目をやれば、四季の景色が心を癒す。  
 家族の笑顔が集う、とっておきの空間。



⑥個性的なインポートタイル

- ⑤木の個性を活かしたリビング  
 開放感を重視したリビングは、太く丈夫な地松を大胆に梁に使うことで、柱を入れずに支えることが可能に。お手入れがしやすく自然素材ともしっかり馴染むタイルも見どころ。

- ⑥個性的なインポートタイル  
 水まわりには、他ではなかなか見ることのな



⑤木の個性を活かしたリビング



⑦庭を愛でる和室

- いインポートのタイルを採用。配置ひとつにも職人のこだわりと技が光る。

- ⑦庭を愛でる和室  
 落ち着いた色合いの漆喰と存在感のある柱が、庭の美しさをよりひきたてる和室。粋な和心とナチュラルでモダンな庭の景色が融合した、究極の癒しの空間。



⑧匠が手刻みで加工を施し組み合わせていく家づくり

- ⑧匠が手刻みで加工を施し組み合わせていく家づくり

- 樹齢200年の秋田杉など良質な無垢材が迎えてくれる玄関。手刻みで加工を施した継ぎ手が美しく組み合わせさせた造りや造作棚など、細部まで計算されつくした匠の技が随所に光る。